

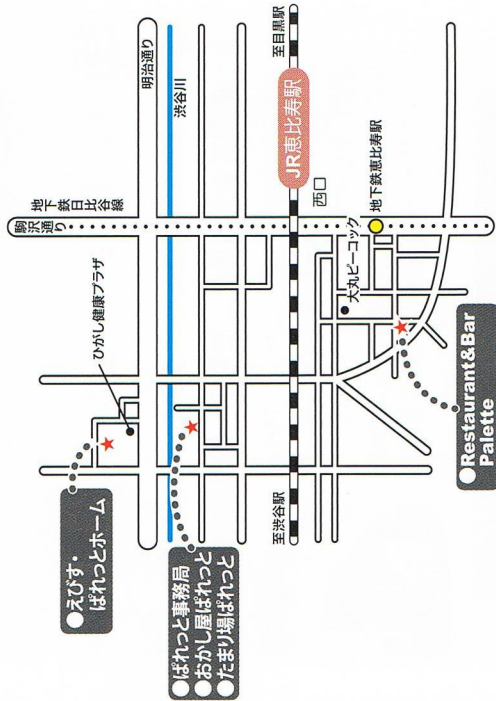


特定非営利活動法人 ぱれっと ＜2010 年度 資料＞

～目次～

- | | |
|-----------------------------|-----|
| ・ 総合パンフレット | P 1 |
| ・ NPO 法人ぱれっと 全体概要 | P 3 |
| ・ NPO 法人ぱれっとの組織図 | P 4 |
| ・ たまり場ぱれっと概要 | P 5 |
| ・ おかし屋ぱれっと概要 | P 6 |
| ・ Restaurant&Bar Palette 概要 | P 7 |
| ・ えびす・ぱれっとホーム概要 | P 9 |
| ・ ぱれっとの家 いこっと概要 | P10 |

ぱれっとは就労・暮らし・余暇などの生活場面において障害のある人たちが直面する問題の解決を通して、すべての人々が当たり前暮らしに暮らせる社会の実現に寄与することを目的とします。



ぱれっととは、えびす青年教室(渋谷区教育委員会実施)に集う障害のある青年達の、人間関係や生活圏の狭さに疑問を感じたボランティア有志が「日常的に安心して集える場」地域につくろう」と呼びかけ、1983年に誕生しました。

私たちと共に『当たり前の社会』を考えてくださる会員を募集しています。
応援よろしくお願ひします!!

- < 会 費 >
- 正会員A 年会費10 6千円を10以上
 - 正会員B 年会費10 3千円を10以上
 - 賛助会員 年会費10 1万円を10以上
- * 正会員A、Bの会員資格や権利は同じです
 * 賛助会員は、総会での議決権を持ちません
 * 会費は、郵便振替(00110-7-18294)からお支払いくください。

◎その他お問い合わせは下記宛に。
 特定非営利活動法人ぱれっと事務局
 TEL:03-5766-7302

特定非営利活動法人

ぱれっと



ぱれっととは、就労・暮らし・余暇などの生活場面において障害のある人たちが直面する問題の解決を通して、全ての人があたり前に暮らせる社会の実現に寄与することを目的としたNPO法人です

特定非営利活動法人ぱれっと事務局

HP: <http://www.npo-palette.or.jp>
 E-mail: palette@npo-palette.or.jp
 〒150-0011 東京都渋谷区東3-19-9 恵比寿イーストビル101
 TEL: 03-5766-7302
 FAX: 03-3409-3790
 (月～金曜日 午前9時～午後6時)

たまり場ぱれっと

HP: <http://www.npo-palette.or.jp/tamariba>
 E-mail: tamariba@npo-palette.or.jp
 〒150-0011 東京都渋谷区東3-19-9 恵比寿イーストビル101
 TEL: 03-5766-7304
 FAX: 03-3409-3790
 (月～金曜日 午前9時～午後6時)

おかし屋ぱれっと

HP: <http://www.npo-palette.or.jp/okashiya>
 E-mail: okashiya@npo-palette.or.jp
 〒150-0011 東京都渋谷区東3-19-9 恵比寿イーストビル101
 TEL&FAX: 03-3409-3774
 (月～金曜日 午前9時～午後5時30分)

Restaurant&Bar Palette

HP: <http://www.r-palette.com/>
 E-mail: UGJ28199@nifty.com
 〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-15-2 7F 川口ビル102
 TEL: 03-5489-0770
 FAX: 03-5489-0836
 (月～土曜日 午前11時30分～午後3時/午後5時30分～午後11時)

えびす・ぱれっとホーム

HP: 法人ホームページにて公開中
 E-mail: ep-home@npo-palette.or.jp
 〒150-0011 東京都渋谷区東3-14-5
 Tel&Fax: 03-3407-6070

ぱれっとインターナショナル・ジャパン

ぱれっと事務局にお問い合わせ下さい



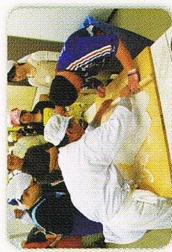
Palette

あそぶ



たまり場ぱれっと (1983年7月設立)

- 余暇活動を障害のある人たちと共に行なう事業
おしゃべり・スポーツ・パーティー・旅行・英会話教室など、様々なプログラムを行なっています。障害や年齢、国籍に関わらず、新しい可能性と仲間を見つける場です。



はたらく



おかし屋ぱれっと (1985年4月開所)

- 障害のある人たちを対象とした就労支援事業
「お客様に喜ばれる商品づくり!!」をモットーに、知的に障害のある人たち(通所員)と共に、クッキー・ケーキの製造・販売を行なっています。給料が多くもらえるよう従業員一同売上UPを目指し、企業にチャレンジしたい通所員には就労支援を行なっています。



Restaurant & Bar Palette

(1991年1月開店)

- 障害者・健常者・外国人がともに働く株式会社

「誰でも食べに来られるあたり前のレストラン」を目指し、スリランカカレー、体に優しい香辛料料理とお酒を提供する空間を作っています。

NPO法人と理念を共にする企業体として利益追求の現場で障害のある人たちが働いています。

思い・夢

『人に喜ばれるような仕事がしたい』

『友人と携帯電話で話したい』

『一人暮らしをしたい』

『仕事帰りに同僚と飲みに行きたい』

『友達同士で旅行に行きたい』

誰もが望むことなのに、障害があることで

こうした「あたり前なこと」が限られています。

福祉や社会の枠にとられないで、

発想を転換し、新しい社会を創造すること、

「誰もがあたり前に暮らせる社会」を目指して

常にチャレンジしていきたい

。「ぱれっと」は考えています。



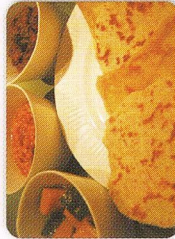
つたえる



ぱれっとつうしんと
ホームページ

- 広報、啓発活動事業

ぱれっとつうしん(年10回発行)やホームページなどで情報発信を行なっています。



<http://www.npo-palette.or.jp>

くらす



えびす・ぱれっとホーム (1993年8月開所)

- 知的障害者を対象としたケアホーム運営事業
- 知的障害者を対象とした緊急一時保護委託事業

茨谷区在住者を対象とした、ケアホーム(6名)とショートステイ(2名)を運営しています。

共同生活での様々な経験を通し、地域の中であたり前の暮らしと自立を目指しています。



国をこえる



ぱれっとインターナショナル・ジャパン
(1999年10月設立)

- 国外の民間非営利団体との交流と研修事業
- 障害のある人を対象とした国際支援事業



福祉の分野に限らず、社会的・文化的な側面からも異なる国を見ることにより、視野を広げることを目的とした国際交流プログラムを行なっています。

1999年には、スリランカに Palette を設立し、現地の障害者の就労支援活動を10年間実施しました。また、アジアの国々からインターン生を受け入れ、それぞれの福祉をお互いに学び合う場を設けています。

特定非営利活動法人ぱれっとの概要

目的

ぱれっとは、就労・暮らし・余暇などの生活場面において障害のある人たちが直面する問題の解決を通して、すべての人たちが当たり前に暮らせる社会の実現に寄与する。

主な活動内容

- ・ たまり場ぱれっと : 誰でも自由に集い新しい仲間と可能性を見つける余暇活動の場 (1983年～)
- ・ おかし屋ぱれっと : クッキー・ケーキの製造・販売を通して社会参加と自立を旨とする福祉作業所 (1985年～)
- ・ Restaurant & Bar Palette : 障害者・健常者・外国人が融合して最高の味とサービスを提供する株式会社ぱれっと (1991年～)
- ・ えびす・ぱれっとホーム : 知的障害者が自立した生活を目指し地域の中で暮らす家、ケアホーム、緊急一時保護事業 (1993年～)
- ・ ぱれっとインターナショナル・ジャパン : 国際交流・国際協力・国際支援活動の場 (1999年～)
- *Palette (スリランカぱれっと): クッキーの製造を通してスリランカの障害者が働く就労の場 (1999年～2010年閉鎖) 2010年よりセイロンビスケット株が、クッキー工房「サハンセバナ」を設立。Paletteのスタッフ及び通所員は、立ち上げメンバーとして雇用
- ・ ぱれっとの家 いこっと : 障害者と健常者が共に暮らす家。良い人間関係の中で自立して地域に暮らす住まい方の選択肢の一つ (2010年～)

活動開始の時期と経緯

- ・ 1983年7月10日開始
- ・ 渋谷区教育委員会主催「えびす青年教室」(知的障害者の社会教育の場)のボランティア有志が、障害者の人間関係や生活圏の拡大を旨として創立。絵画の道具パレットの上で様々な色を混ぜ合わせて新しい色を創り出すように、色を人に置き換えて色々な人たちが「ぱれっと」で出会い、交流することで新しい可能性を生み出すことに挑戦。

理事長： 谷口 奈保子

事務局長： 菅原 睦子

法人認証年月日： 2002年3月25日

活動分野： 福祉の増進を図る活動・国際協力の活動

財政規模： 110,464,212円(2009年度の実績による収入)

ホームページアドレス： <http://www.npo-palette.or.jp>

E-mail： palette@npo-palette.or.jp

電話/FAX 番号： 03-5766-7302 / 03-3409-3790

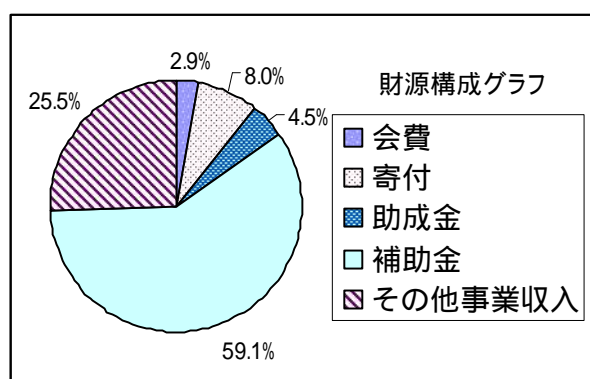
住所： 〒150-0011 東京都渋谷区東3-19-9 恵比寿イーストビル 101

<概要>

組織： 理事13名、監事1名
 スタッフ：14名
 会員数423件(個人、団体含む)

財政内訳：	会費	2.9%	(3,237千円)
	寄付	8.0%	(8,937千円)
	助成金	4.5%	(4,983千円)
	補助金	59.1%	(65,326千円)
	その他事業収入	25.5%	(27,978千円)

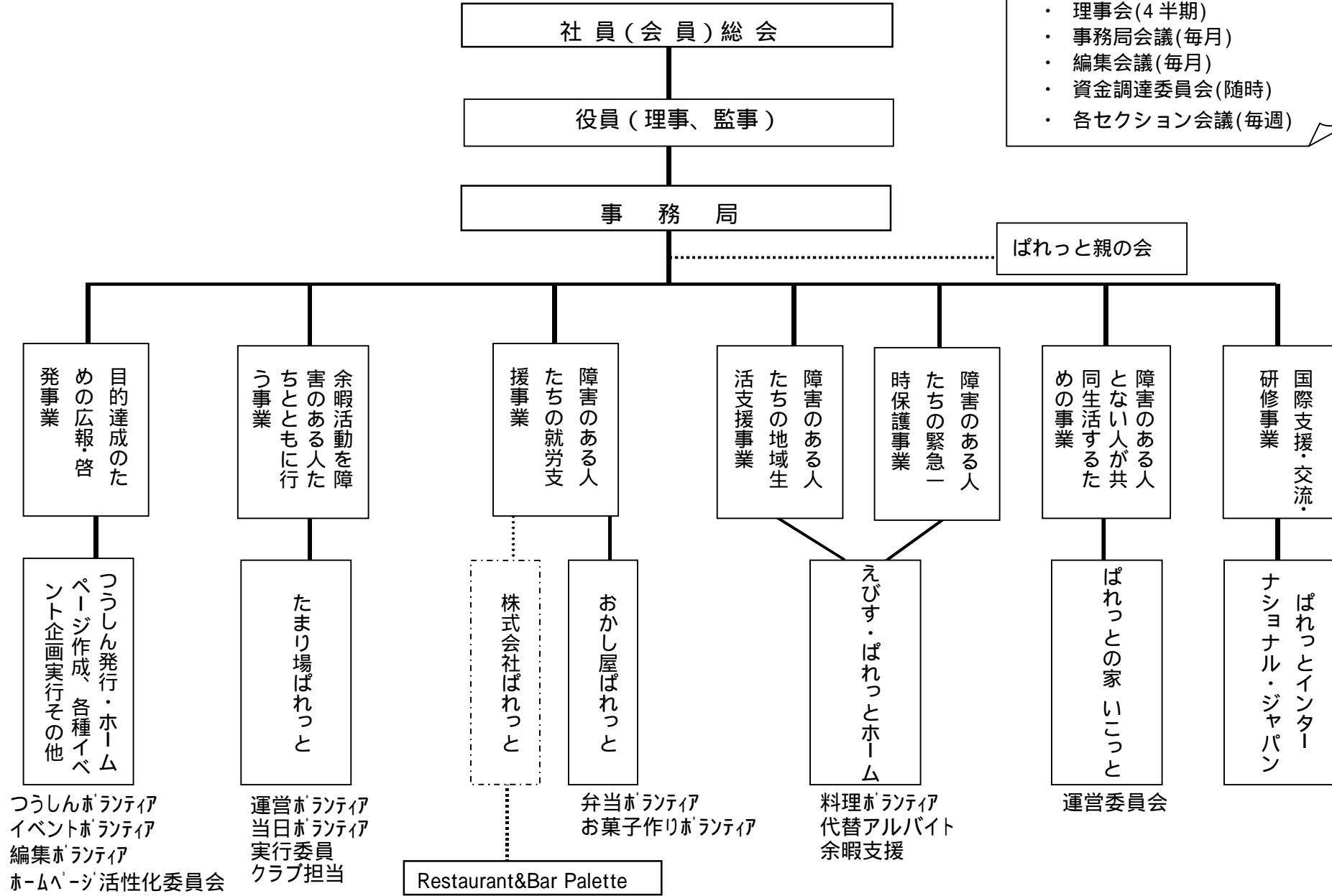
受賞歴： 第4回ヤマト福祉財団賞 2003年12月
 第10回糸賀一雄記念賞 2006年11月



<2010年4月1日現在>

【NPO 法人ぱれっとの組織とボランティアの関わり】

- <ぱれっとの各種会議>
- ・ 理事会(4 半期)
 - ・ 事務局会議(毎月)
 - ・ 編集会議(毎月)
 - ・ 資金調達委員会(随時)
 - ・ 各セクション会議(毎週)



たまり場ぱれっと 1983 年 7 月設立

〔歴史〕 たまり場ぱれっとは、えびす青年教室（渋谷区教育委員会実施）に集う障害のある青年達の、人間関係や生活圏の狭さに疑問を感じたボランティア有志が「日常的に安心して集える場を地域につくろう」と呼びかけ、1983年に誕生しました。開所当初は水、土、日の週3回の開放日を、ボランティアが当番制で支えていましたが、利用者の固定化により1996年に一時閉鎖をし、コンセプトやニーズを見直し、利用者のニーズや時代の変化と共にスタイルを変更して再開しました。現在は月1回の開放日と、各種クラブ活動を原則として、様々な行事の企画運営をしています。色々な人や個性が光る場、参加者が自主的に主体的に活動を創造できる場を目指しています。

〔活動日時〕 **開放日**：毎月1回日曜日に開催 10：00～16：00

クラブ活動：平日夜、または土日を利用して随時開催

〔活動内容〕 たまり場ぱれっとの情報紙「Let's Go!」とホームページで情報発信
開放日毎月1回（学生・社会人の運営ボランティアが企画実行。毎月40人程が参加）
クラブ活動（野球ふぁん倶楽部、ティーボールクラブ、外国語を学ぶクラブなど、利用者自らが中心に企画実行）
年間行事（雪あそび合宿2月、プチ・バカンス8月等）
ボランティア研修（講演会、勉強会、交流会等）

〔スタッフ〕 常勤1名、運営ボランティア7～8名（社会人・学生）

〔利用者数〕 100～150名（年間）（内、ボランティア数：60人～80人）

利用者・・・障害のある人、ボランティアなどたまり場を利用する全ての人の意味。

基本的には、18歳以上の方を対象としています。

ボランティアは随時募集しています。

〔運営資金〕 主にぱれっと会員からの会費収入と寄付金（公的な資金援助はありません）

〔運営体制〕 「運営ボランティア」と呼ばれる人たちが企画運営にあたっています。運営ボランティアは様々な企画の運営全般に関わり活動をリードします。毎週平日の夜に集まり、イベント運営会議を行なっています。その他、開放日やクラブ活動の当日に参加して活動を盛り上げる一般ボランティア、宿泊等の大きな行事の企画運営に関わる実行委員ボランティアが活動をサポートし、利用者の声を形にしています。また、職員はぱれっとの理念をもとに、たまり場を利用する全ての人たちが安全に安心して活動に参加できるよう、活動全体を把握しながら助言やアドバイスをしています。

【運営ボランティアのイベント運営会議】

- ・ 毎週木曜日 19：30～21：30 ・ 場所：恵比寿
- ・ 企画内容：毎月行われる各種イベント、クラブ活動（英会話クラブ、スポーツクラブなど）、年2回の宿泊行事、勉強会や交流会など

【連絡先】

たまり場ぱれっと 職員 左右木（そうき）

住 所：東京都渋谷区東3-19-9 恵比寿イーストビル1階

TEL：03-5766-7304 FAX：03-3409-3790

Eメール：tamariba@npo-palette.or.jp / URL：http://www.tamariba-palette.or.jp

福祉作業所おかし屋ぱれっとの概要（2010年4月現在）

〒150-0011 渋谷区東 3-19-9 恵比寿イーストビル 101

Tel&Fax 03-3409-3774 E-mail okashiya@npo-palette.or.jp <http://www.okashiya-palette.or.jp>

通所員の状況

人数：10名

20代6名、30代1名、40代3名 / 男性5名、女性5名

採用条件：渋谷区内在住、愛の手帳を所持

原則として自力通所ができ身辺自立が可能であること（衛生管理）

スタッフ

常勤職員3名、非常勤職員1名、アルバイト1名、作業ボランティア10名

作業種目

クッキー・ケーキ作り

軽作業（クッキーパッキング、包装、箱折、乾燥剤入れその他）

お弁当作り（月2回水曜日に通所員と職員の昼食をボランティアとともに作る）

労働条件

勤務時間：月～金曜日 8:45～17:30（年末お歳暮の時期は土曜出勤あり） 休日：土日祝祭日

残業代支給：17時半以降残業代支給

夏期・冬期休暇、有給休暇年10日、退職金あり

作業工賃

基本給 38,262円（高卒）（最高 91,885円）、賞与（夏1ヶ月、冬1ヶ月）

平均月額 58,157円（賞与含む）

作業所の特徴

自主製品を作り、製造から販売まで一貫した仕事を行う。

通所員にとって作業工程が理解しやすい製品づくりを行う。

企業と同様に利益を追求し、従業員の労働条件を整備する。

企業へも就労できるように援助する。

*企業就労先：スターバックス、東急ストア、渋谷郵便局

企業とのつながりをつくり訪問販売を行う

通所員一人一人に合った仕事の選択をする。

地域に住むボランティアの参加により、多くの人との出会いと人間関係の広がりをつくる。

組織運営

渋谷区補助金 19,488,610円

・賃借料として 6,480,000円（月額限度額 540,000円×12月）

・事務費として 11,594,760円（96,623円×10名×12月）

・事業費として 1,036,800円（8640円×10名×12月）

・通所員交通費として 360,000円（6,000円×5名×12月）

売上 年間 23,770,672円（平成21年度）

賃借料：778,046円/月（年間 9,336,552円）

会議

・ぱれっと親の会、各セクション事務局員会議（月1回）

・おかし屋職員会議（週1回）

・通所員個人面談・父母面談（年1回）



スリランカ料理 & BEER

Restaurant&Bar *Palette*

店舗コンセプトと概要

1. 基本コンセプト

- ・障害者、健常者、外国人がともに働き利益を追求する「株式会社」
- ・障害の有無に関係なく誰もが食べに来られる「ユニバーサルデザイン」の追求

2. 店舗概要

経営主体：株式会社ぱれっと

(資本金3500万円・1990年4月設立・株主総数26名)

所在地：東京都渋谷区恵比寿西1-15-2 03-5489-0770

E-mail UGJ28199@nifty.com Web <http://www.r-palette.com/>

席数：24席

店舗面積：11.28坪(賃料：336000円/月)

スタッフ：店長1名、スリランカ人コック1名、日本人コック1名、
知的障害者2名(うち1名は主任)

営業時間：11時30分～15時 17時30分～23時00分

定休日：日曜・年末年始

3. 変遷

1989年1月 おかし屋ぱれっと(作業所)の親とボランティア有志による準備委員会設立

1990年4月 株式会社ぱれっと設立

1991年1月 「スリランカレストランぱれっと」開店(渋谷区恵比寿西1-16-8)

1996年8月 「香辛酒房ぱれっと」に店名変更・現在地へ移転

2003年11月「Restaurant & Bar Palette」へ店名変更及び店舗改装

4. 業績(単位:円)

平成18年度：19,905,661

平成19年度：17,565,469

平成20年度：17,463,868

平成21年度：16,388,678

5. イベント

2002年より、NPO活動に携わる人たちや興味のある人たちの出会いと連携を目指

した飲み会「ぱれっとサロン」を開催中。毎回各分野で活躍する人を招いて話をしてもらい、それをきっかけに徹底的に飲んで食べて話す会を開いている。誰でも参加OK。

6. 経営について

レストランのある恵比寿西地域は、周囲を恵比寿ガーデンプレイス、恵比寿駅ビルショッピングモール「アトレ」、代官山アドレスなどに囲まれた飲食店の大激戦区です。Bar、居酒屋、イタリアン、フレンチ、エスニック、中華などありとあらゆるジャンルの店が立ち並び、入れ替わりも大変激しく、次々と新しい店が誕生しています。ここに店を構えた当時、本当にやっていけるのか、と周囲からはたくさんの不安の声がありました。

もともと、ぱれっとは1983年に余暇活動支援からスタートした小さな団体でした。障害のある人たちが、閉鎖的な社会の中で暮らしている状況に疑問を持ち、ごく当たり前で地域で生活する拠点を作り続け、2009年で26年を迎えました。その中で17年目を迎えた株式会社ぱれっとは「当たり前で働く職場」を目指して設立されたセクションです。当時は障害のある人たちが働く職場というと、施設か作業所に限られ、いわゆる資本主義経済からは遠く離れた存在でした。その背景には彼らには一般就労はできないという先入観、障害という名のもとにすべてをひとくくりにしてしまおうという考えがありました。私たちはそれを全面的に否定してしまうつもりは毛頭ありません。確かにどんな障害があっても、同じように働けるかと言えば答えはNOです。しかし、中には支援を工夫することによって利益を求める場面に立派に関われる人がいるはずだという考えのもと、企業体として今の店をオープンしました。

開店から19年、数々の紆余曲折を繰り返しながら現在に至っていますが、残念ながら経営は決して自慢できる状態ではありません。大幅な赤字を出さないのがやっと、というのが正直なところで、従業員もぎりぎりの人数で取り組まざるを得ない状況です。ただこれは、彼らが働いているからということでは決してなく、激戦区の中で19年間営業を続けることそのものが大変であるということを表しています。そしてその中であって障害のある人たち2名は開店当時から働いているベテランになり、その成長は頼もしいばかりです。ひとりが約9年前から主任に昇格し、他の従業員の仕事管理から、清掃、接客、会計などありとあらゆる業務を一生懸命こなしています。給与についても各々、勤務時間による開きはあるものの、3万～10万の金額を支給しています。

Restaurant & Bar Palette では、障害のある人たちが働いているということを全く宣伝していません。これは隠しているということではなく、それをしてしまうことによって彼らが働いていることが特別になってしまうからです。お客様はそのコンセプトを知らずに来店し、知らずにお帰りになります。そしてそれこそが当たり前の店であると私たちは考えています。ごく普通に皆が共に働く飲食店、それが

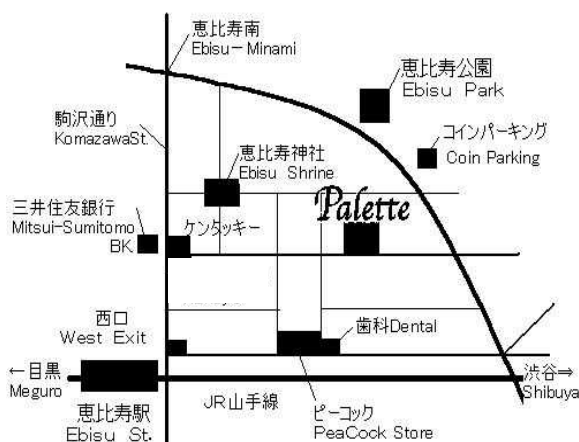
「Restaurant & Bar Palette」です。

店長 南山達郎

JR 山手線・埼京線・湘南新宿ライン
東京メトロ日比谷線

「恵比寿駅」西口下車徒歩3分

JR 西口改札を出て左へ、駅前ロータリー右手のケンタッキーフライドチキンの右の道を入った奥・左手ビルの1階



えびす・ぱれっとホーム (2010 年 5 月現在)

1. 基本コンセプト

- ・ 知的障害者を対象としたケアホームと渋谷区在住者を対象としたショートステイの運営
- ・ 暮らしの場は安らぎの場であることを基本理念に、共同生活での様々な経験を通し、地域の中でのあたり前の暮らしを目指す

2. 概要

所在地：〒150-0011 東京都渋谷区東 3 - 1 4 - 5

TEL&FAX 03 - 3407 - 6070

E-mail ep-home@npo-palette.or.jp Web <http://www.npo-palette.or.jp>

事業内容

< 共同生活介護 (ケアホーム) > : 6 名 (6 名定員)

原則として渋谷区に住所を有す知的障害者、就労者 (見込み者含む)

身の処置ができ、社会的自立に意欲がある方

利用料：55,000 円 / 月 (内訳：家賃 20,000 円、食費 30,000 円、水光熱費 5,000 円)

< 緊急一時保護 (ショートステイ) > : 2 名定員

渋谷区在住の知的障害児・者 6 歳以上

利用料：なし 食費 1 食 500 円 おやつなどは実費

* 2 事業とも、利用希望者は渋谷区障害者福祉課にて利用申請登録が必要です。

スタッフ：専従職員 4 名 代替職員 16 名登録 料理ボランティア 14 名登録

3. 組織運営

47,099,527 円 / 年 (2009 年度実績)

介護給付費他 11,401,007 円 (グループホーム)

渋谷区補助金他 10,517,686 円 (グループホーム)

渋谷区委託金 21,495,859 円 (緊急一時保護事業他)

利用者負担金収入 3,423,284 円 (グループホーム本人利用料)

その他 261,691 円 (助成金、寄付金等)

2009 年 4 月 1 日より障害者自立支援法の規定による指定障害福祉サービス 共同生活介護 (ケアホーム) の事業者となり、ケアホームは介護給付費他と渋谷区補助金により運営する。

4. 変遷

1993 年 1 月 ぱれっとホーム(仮称)プロジェクト会議設立

1993 年 8 月 えびす・ぱれっとホーム開所

2009 年 4 月 障害者自立支援法 共同生活介護 (ケアホーム) の指定事業者となる

ぱれっとの家 いこっと (2010 年 4 月設立)

1. ミッション

~ 障害のある人もない人も安心して暮らせる家をつくる ~

障害のある人も、自分の力で暮らせる家です
 一人ひとりが個室を持ち、共用のキッチンとリビングがあります
 入居者同士のコミュニケーションを大切に、自分たちで住まい方を作っていく家です

2. 概要

- 住 所：東京都渋谷区東 3 丁目（「恵比寿」駅より徒歩約 8 分）
 えびす・ぱれっとホームの隣です。
- 建物概要：木造（2 × 4 工法）、地上 3 階建て（居室数：8 室）
 延床面積：約 169 ㎡
 居室広さ：各室約 6 畳（収納スペースを除く）
 浴室・シャワー・トイレ・洗面・洗濯機は共用。
 1 階に約 19 畳の共用キッチン・リビング・ダイニング（通称“いこ間”）あり
- 家 賃 等：家賃 6 万 9 千円～7 万 3 千円、敷金 2 ヶ月、礼金なし
 水光熱費は入居者で均等割り
- 入居状況：平成 22 年 4 月現在・・・6 名（障害者 2 名、健常者 4 名 20 代～40 代）
 入居条件：原則、就労していて日常生活を自立して行える方。年齢不問

3. 運営体制

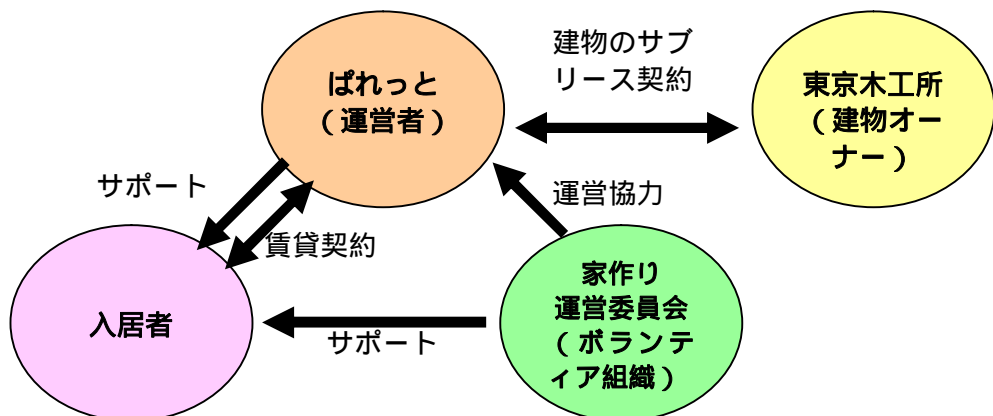
東京木工所とぱれっとで建物のサブリース契約を結び、ぱれっとと入居者で賃貸契約を結びます
 計画段階の実行委員会・ワークショップに替わり、運営段階のために新たなボランティア組織として“家作り運営委員会（仮称）”を設け、ぱれっとに協力し、運営をサポートします

【ぱれっとスタッフの業務】

入居者の窓口、新入居者の手続き、退去者の手続き、待機者リストの作成・管理、建物所有者の窓口、見学や問い合わせ等の窓口、資金管理、

【家作り運営委員会の目的】

1) ぱれっとと協力し、『いこっと』での暮らしをサポートする。
 2) 『いこっと』の意義を社会に発信する。
 < 運営委員会（仮称）の役割 >
 1) 入居者ミテイングへ必要に応じて参加、その他サポート（事業推進、管理）
 2) 広報、講演、事業に関する相談





いこ間でパーティ



入居者ミーティング



居室

居室



3階バルコニーからの眺め